

社会福祉事業

- 法人全体としては、新しい地域拠点である「井田原ホーム」の経営課題を見守りつつ過ごしましたが、地域との関係や利用者の方々同士の関係は、特に問題なく過ごすことが出来ました。しかし新しく始めた地区であるということ等で支援度や介護度の高い方の利用は難しく、7名定員のところ5名で1年過ごしました。しかし、今後は、支援の充実等を図り経営の安定にも取り組んでいきます。
規程等の関係では、10月から障害者虐待防止法が施行されることに伴い、「虐待防止対応規程を整えました。また、平成25年4月から改正される高年齢者雇用安定法の内容に則するように「定年後の再雇用に関する規程」を改正し、当法人では希望者全員を65歳まで雇用することとしました。
- 玄海第一育生園では、年間3名の新しい利用者を迎え入れました。また、グループホームが開設したことに伴い5名（男性2名女性3名）の方がホームから通所されることになりました。職員配置については8年ぶりに管理者が変わり、それに伴いサービス管理責任者を変更しました。収入に関しては、「新体系定着支援加算」及び「目評工賃支援加算Ⅰ」がとれたおかげで安定し、人件費積立300万円と修繕積立100万円を行うことが出来ました。
設備面では、作業用車輛の購入と支援員室等の間仕切りの変更を行いました。
作業関係では、平成24年度福岡県障害者自立支援基盤整備事業補助金により「焼き菓子製造機器」を購入することができ、今後新しい分野の加工品を製造し工賃向上に取り組んでいきたいと考えています。
- 玄海学園では、新体系移行後2年目を迎え個別支援計画の整備・実行に力を入れました。利用者の異動は、グループホームへ1名あり、新しく重度の方（女性）を受け入れました。利用者の介護ニーズの高まりに伴い9月に1名支援員を増員しましたが、その後離職者が出て、その都度求人を行っていますが最近の傾向でなかなか集まりませんでした。4月には3名の新職員を採用することができました。
設備面では、日常及び避難時の階段での転倒防止や車椅子の方々（2名）の移動がスムーズにいくように玄関外と玄関内の上がり框の所と裏口にスロープを設置しました。固定資産の取得に関しては、新設の井戸及び自動床面洗浄機の入替えを行いました。また、将来に備えて、修繕積立1,000万円を行いました。
- 井田原ホームでは、平成24年4月1日より開設しましたが、最初は、手探りの状態でした。しかし、利用者の日中活動が全員育生園ということもあり、共通する話題も多く、早い時期に慣れられました。世話人さんも全員地元の方で大変よくして頂いています。定員割れしていることで経営的には大変な面はありますが全体的には、順調だと思います。
地域との関係では、隣接している在宅型有料老人ホームとの交流があり、夏の花火への招待や法人の愛育祭への来園、また9月より1名の利用者が日中活動として週2回実習に行かれるようになりました。

公益事業

収益事業